

命を守る時間作りませんか？

～建て替えるなら準耐火以上へ～



01. 令和6年能登半島地震における火災

令和6年1月1日に発生した令和6年能登半島地震では、石川県輪島市の朝市通り周辺で大規模な火災が発生しました。

【被害状況】

焼失面積 約 49,000m²

焼失棟数 約 240 棟

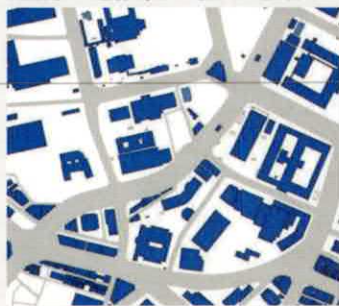
Q なぜ輪島の火災は燃え広がったの？

A 木造住宅密集地域で火災が発生したため など(※)

木造住宅密集地域とは、震災時に延焼被害の危険性が高い地域のことです。



延焼の危険性が低い地域



延焼の危険性が高い地域



凡例 ■ 耐火建築物 ■ 準耐火建築物 ■ 防火構造 ■ 裸木造 ■ 道路

危険性	火気・電熱器保有数	少ない	多い
	地盤	強い＝揺れにくい	弱い＝揺れやすい
危険性	建物量	建物が密集していない	建物が密集している
	建物構造	耐火性が高い【耐火造等】	耐火性が低い【木造等】
	広い道路・公園	多い	少ない

出典 | 東京都 あなたのまちの地域危険度 令和4年版を一部修正



火災前



火災後

輪島市火災 焼失範囲

出典 | 「空中写真等の画像判読による輪島市中心の火災焼失範囲（推定）」(2024(令和6)年1月2日国土地理院撮影)



木造住宅密集地域の例

出典 | 東京都 防災都市づくり推進計画 令和7年3月版

(※) 輪島の大規模火災の原因は、木造住宅密集地域で延焼しやすかったことのほか、建物倒壊や道路陥没により消防の出動が遅れたこと、飛び火で火災が拡大したこと、消火栓や一部の防火水槽が使えなかったこと、河川の水位が下がり消火のための取水ができなかったことなど、いくつかの悪条件が重なったためであるとされています。

02. 板橋区にもある木造住宅密集地域

東京都によると、板橋区内に木造住宅密集地域が14地域あります。

Q 震災時に木造住宅密集地域はどうなる？

A 大規模火災等により大きな被害が出るおそれがある

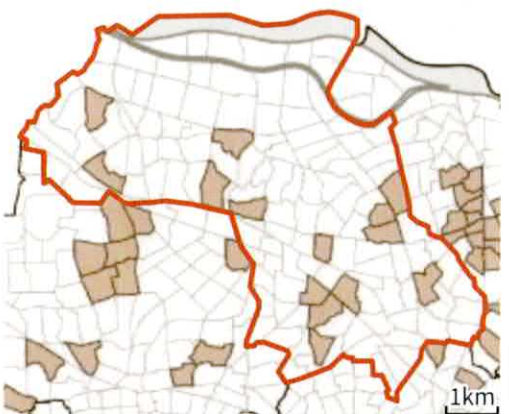
- ・ 延焼が拡大しやすい → 建物の焼失、人が火災に巻き込まれる
- ・ 建物等の倒壊も発生 → 人的な被害、出火の発生、道路の閉塞
→ 避難や消防・救助活動等が困難
→ 被害がさらに拡大



火災延焼により
建物が焼失し、
人が火災に
巻き込まれる



建物倒壊により、道路閉塞が
発生し、避難者や緊急車両が
通行困難になって、被害が
さらに拡大



板橋区内の木造住宅密集地域

出典 | 東京都 防災都市づくり推進計画 令和7年3月版

>>> 首都直下地震が予想されている中、大切な命やまちを守るために、どんな対策をすべきでしょうか。

裏面に続く >>>

03. 火災に強い建物とは

建築物は耐火性能によって「裸木造」「防火構造」「準耐火建築物」「耐火建築物」の4種類に分類されます。

燃えやすい

燃えにくい



外部の火災

延焼しやすい

最低 30 分間耐える

最低 45 分間耐える

1～3 時間耐える

内部の火災

延焼しやすい

延焼しやすい

最低 45 分間、他の部屋
や屋外に延焼しない

1～3 時間、他の部屋や
屋外に延焼しない

建物の
特徴

概要
壁・柱・床などが木造で、
特に防火措置がされてい
ない建物。建物内外の火災に
弱く、延焼が拡大しやすい

概要
外部からの火災の延焼を防ぐ
ため、建物の外壁と軒裏に一
定の耐火性能を持つ鉄鋼モル
タル塗などの耐火被覆をほ
こした建物

概要
壁・柱・床などの主要構造部
に一定の耐火性能を持つ材料
を使用し、延焼の恐れのある
外壁の開口部を網入りガラス
などの防火設備にした建物

概要
壁・柱・床などの主要構造部
に高い耐火性能を持つ材料を
使用し、延焼の恐れのある外
壁の開口部を網入りガラスの
などの防火設備にした建物

主な構造

・木造（むき出し）

・木造（外壁と軒裏がモルタル塗など）

・鉄骨造
・耐火被覆等をした木造

・鉄筋コンクリート造
・耐火被覆した鉄骨造、木造

04. 準耐火建築物が少ない地域と多い地域の燃え広がり方を比較してみよう

Q 準耐火建築物に建て替えると、どんな効果があるの？

A 延焼拡大のスピードが遅くなる！

〔検証方法〕

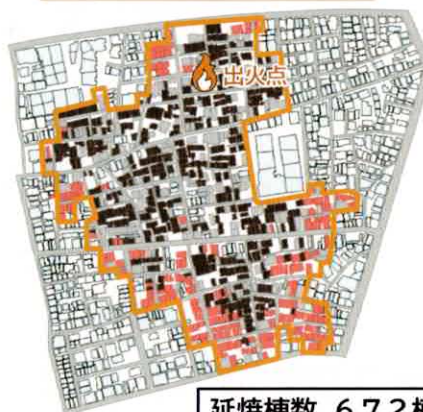
- ・準耐火建築物の割合が異なる2種類の架空の市街地で、延焼シミュレーションを実施
- ・右図の出火点から出火して6時間後の延焼棟数を比較
- ・北の風 風速8m/s
- ・消火活動は行われないものとする

〔確認できた効果〕

- ✓ 準耐火建築物が増えると延焼拡大のスピードが遅くなり、避難等のための時間的な余裕が生まれます。
- ✓ 延焼の拡大を阻止できる場合もあります。

※国土交通省国土技術政策総合研究所の市街地火災シミュレーションプログラムと簡易表示ツールを使用

耐火建築物割合 10%
準耐火建築物割合 33%



延焼棟数 672棟

耐火建築物割合 10%
準耐火建築物割合 50%



延焼棟数 179棟

耐火・準耐火建築物
鎮火した建物（同上）

防火構造・裸木造
焼け落ちた建物（同上）

延焼中の建物
6時間後の延焼範囲

▶▶▶ 準耐火建築物以上への建替えにより、みんなが安心して暮らせるまちをめざしましょう！



詳細情報&シミュレーション動画はこちら ▶▶▶
または「板橋区 木密」で検索

〔問合せ先〕

板橋区 まちづくり推進室まちづくり調整課

調整・不燃化まちづくり係 TEL 03-3579-2572

板橋区 木密 検索

